

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣西高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和4年6月27日(月) 14:30~16:15
- 3 開催場所 大垣西高等学校会議室
- 4 参加者

会長	木村 幸雄	大垣市静里地区連合自治会会長
副会長	杉原 茂男	中部学院大学 特命学長補佐兼入試広報部長 兼特任教授、本校 元校長
委員	安藤 成実	あおいこども園 主幹保育教諭
	伊藤 和久	伊藤配管工業株式会社 代表取締役社長、 本校同窓会長
	汲田 哲也	日本耐酸壇工業株式会社 部長 (欠席)
	ニノ宮一貴	本校育友会 会長
	小林はる花	本校育友会 学年委員会委員長
	大野 亜紀	本校育友会 学年委員会委員
西村ゆみ子	本校育友会 学年委員会委員	
学校側		
	林 辰郎	校長
	村上 宏俊	教頭
	鷺見 信明	事務長
	今井 丈暁	教務副部長
	清水 知之	進路指導部長
	武田 峰治	生徒指導部長

5 会議の概要(協議事項)

- (1) 授業参観(2年次生 総合的な探究の時間)
- (2) 本校の学校経営計画を踏まえた令和4年度学校運営の基本方針について
- (3) 学校の現状と課題について

意見1:成人年齢が引き下げられたことに対する指導は行っているか。

⇒ 公民や家庭科の授業において主権者教育を行っている。

意見2:生徒は大変落ち着いてきている印象を受けた。ただ、町内の交差点等では飛び出しなどの危険な行為が見受けられる。大きな事故は起きていないが交通安全上・防犯上危険だと感じる場面があるので、折をみて生徒の身の安全を守ることができるように指導してほしい。

意見3:教室を見て回ると、手指消毒ができる環境の充実を感じたが、それらを活用するための啓発活動をもっと行うべきではないか。

意見4:本校の近くに住んでいるので、吹奏楽や太鼓の音がよく聞こえてくる。また書道など全

国大会などで頑張っている生徒が多くいるので、地域への発表の場を設けてはどうか。

意見5：スクールカウンセラーによる教育相談（スクールカウンセリング）はどのくらい行っているのか。

⇒ 月に2・3名程度である。保健室や教育相談室での相談を含めると、10名程度である。

意見6：成人年齢の引き下げについて、機会を見つけて生徒へ指導をしてほしい。また、大学では、進学して2・3日で大学の学びと自分の進路希望とのミスマッチを感じている学生がいる。本校の生徒に対しても進路指導部が主導して描く将来像と結びつける進路指導をしてもらいたい。

(4) 魅力ある学校づくりについて

○総合的な探究の時間（地域課題探究活動）について

意見1：グループで集まって問いを作っていて、独自の視点で問いが立てられていてよかったですではないか。授業としては問いが非常に興味深い。ぜひ今後も続けてほしい。

意見2：通常の授業とは違い、日常の中に問いを見出し、考えることは非常に大切な学習である。

意見3：地元に着した問いを生徒の世代が考えているということが大変素晴らしい。

意見4：クラスの枠を超えて集まるせっかくの機会なので、もっと活発に交流し、意見を出せるとよりよくなるのではないか。

意見5：生徒が様々な人に意見を聞きながら活動ができればよい。地域の方だけではなく、保護者など身近な大人に意見を求めることが必要ではないか。

意見6：社会人になって思うのは、高校や大学は通過点であり、早い段階で目的意識を持った人が将来生き生きとしているのではないか。この探究活動は将来の自分を見つめる活動として大変有意義な活動である。

○今後の本校の魅力づくりについて

意見7：本校が現在取り組んでいることをさらに地域にむけて発信していくことが大切ではないか。ある学校では、学校存続の問題が話題に上ったときに、最後まで反対意見を挙げ続けたのは同窓生や地域の方であった。また私学は存続をかけて先々のことを考えている。何を残し、何をPRすべきなのかを先々まで検討してほしい。「県教育委員会が検討するから」といった考えではなく、職員の皆さんで検討してほしい。

6 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、全委員より、今年度の本校の学校運営方針について承認が得られた。また、学校の魅力づくりについては、今回、委員からの意見や提案を踏まえて、より一層地域との連携を深めて学校を地域に向けて発信していくとともに、魅力づくりの具体について引き続き検討していくことを確認した。